

「磯浜りんりんくらぶ」の絵てがみ体験教室



いばらきの未来を拓く たくましい人づくり

11月は「いばらき教育月間」です。子どもの未来のための教育、地域の皆さんでできる教育について考えてみませんか。いばらきの教育の今を、レポートします。



女性特派員：武藤純子

始まっています
いばらきの「人づくり」



教育を取り巻く環境は、少子高齢化など社会の急激な変化とともに大きく変化しています。その一方で、子どもの公共心や社会性の低下、家庭や地域社会の教育力の低下などが問題となっています。そのため、県では「いばらきの未来を拓くたくましい人づくり」をテーマに、「知・徳・体」の調和のとれた教育施策を、学校・家庭・地域社会と協力しながら進めています。

今年度からスタートした「家庭の教育力向上プロジェクト」では、親の役割や責任、子どもへの接し方などを記載した「家庭教育ブック」を作成し、来年度小学校に入学する子どもの保護者などに配布しています。核家族化の進行により、子育てや教育に関する悩みや不安を抱えたり、無関心だったりする親が増え、家庭での教育力の低下が心配されています。各家

庭での「家庭教育ブック」活用によって、親の不安が解消され、家庭の教育力



家庭教育ブックは自然体験フィールド100選マップと一緒に配布されます

が向上することが期待されます。また、病気やけがの際の対応や子育てに関する相談窓口なども載っており、子育て中の親にとって心強い味方になってくれそうです。

同じく今年度スタートの「未来の科学者育成プロジェクト」では、理科や算数・数学への興味・関心を高め、さらには将来世界で通用する科学者・研究者になろうとする人材の育成を行います。まず、興味・関心を高めるために小中学生に対しては、県内の博物館・科学館などを回る「科学大好きスタンプラリー」、研究機関などで研究者の指導のもと観察・実験を行う「理数博士教室」などを実施していきます。さらに、高校生に対しては、大学の研究室でのインターンシップ「科学体験教室」、科学オリンピック参加者の強化トレーニングなどを実施し、科学者を目指す生徒を育成しています。

県自然博物館にて
プランクトン採集
(理数博士教室)



光エネルギーの実験
(科学体験教室)





こくぶん祭
国内最大の文化・芸術の祭典
第23回国民文化祭・いばらき2008
平成20年11月1日～9日

七色帆引き船の合同操業

130年の伝統を誇る霞ヶ浦の帆引き船は、24反の生地を縫い合わせた、横18m×縦15mにもなる大きな白い帆が特徴です。今回、その帆が赤・桃・黄・緑・青・紫・白の鮮やかな7色になって登場します。風を受けて弧を描く7色の帆が、キラキラと輝く水面を彩ります。

「霞ヶ浦に虹を架けよう!」という小美玉市在住のグラフィックデザイナー藤代範雄氏の発案に、地元漁協をはじめ多く人の力が結集して実現したこの七色帆引き船。操業日は、11月2日(日)・3日(月)・8日(土)・9日(日)です。ぜひご覧ください。(藤原真由美)



第23回国民文化祭茨城県実行委員会事務局
☎029(301)2835 ㊟2849
http://www.kokubun2008.pref.ibaraki.jp/



地域の皆さんに折り紙を教わりました

**放課後子ども教室
「磯浜りんりんくび」**

放課後や週末に小学校の教室などを利用して、地域の皆さんを指導者・ボランティアに子どもが勉強やスポーツ・文化活動・体験活動に取り組み「放課後子ども教室」が、各地で実施されています。大洗町立磯浜小

学校では、同校に通学する児童を対象に毎週火曜日に「磯浜りんりんくび」を実施しています。約二百人の参加児童を十五人のスタッフとボランティアの方々を支えています。子どもが安心・安全に活動できる居場所を提供するとともに、地域のボランティアの方々に参加することで、普段の学校教育ではできないような体験を提供する機会にもなっています。コーディネーターの大山吐志さんは「ここは地域・学校・保護者が連携してスムーズに運営されており、子どもにとって欠かせない遊び場となっています。今後も安全に気を配りながら、伸びやかに活動が続けていきたいです」と語っていました。地域社会が一体となって、子どもが安心して楽しく学び遊べる環境をつくることの大切さを実感しました。

「いばらき教育月間」の取り組み

「いばらき教育月間」の11月中には、県や市町村、各種団体などが、県内各地で教育の日につながるさまざまな取り組みを行います。

取り組みの詳細は、「いばらき教育の日」ホームページに掲載されますので、ホームページをご覧ください。

「いばらき教育の日」ホームページ
http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/kyouikunohi/ibaraki.htm

「いばらき教育の日」推進大会

11月6日(木) 10時～ 県民文化センター

表彰、実践発表など
記念講演 ピーター・フランクル氏
「わが子が幸せになるための助言
—まず家庭から—」



みんなで教育を考える
主催:「いばらき教育の日」推進協議会
☎ 029(224)8120

**十一月は
「いばらき教育月間」**

県では、社会全体で教育の重要性を再認識するきっかけとするため、毎年十一月一日を「いばらき教育の日」、十一月を「いばらき教育月間」としています。「地域の教育力の向上」など四つのテーマを掲げていますが、今年はその一つ「家庭の教育力の向上」に重点を置いています。月間中には、家庭の大切さや家庭での教育について考える機会となるよう家族の絆や触れ合い



高校生によるマナーアップキャンペーン

この重要性を呼び掛けます。また、県や市町村・学校・各種団体などが主体となって、教育に関する講演会や家族で楽しめるイベントなども開催します。こうしたイベントに参加するなどできることから始めて、教育力アップにつなげていきたいと思われました。

- 「家庭の教育力向上プロジェクト」
「放課後子ども教室」について
☎ 029(301)5322 FAX 53399
- 県生涯学習課
- 「未来の科学者育成プロジェクト」について
☎ 029(301)5226 FAX 5239
- 県義務教育課
- 「いばらき教育の日」について
☎ 029(301)5152 FAX 5159
- 県教育庁企画広報室
- 「いばらき教育月間」について
☎ 029(301)5260 FAX 5269
- 県高校教育課